

第2週

ネットワーク演習（2）

2.1 概要

本演習では、インターネットを構築する技術のうち、基礎的な Web サーバに関わる技術を、2回に分けて学ぶ。1週目では、Web サーバの理解と Web アプリケーションのうちクライアントサイドプログラムの基礎を学んだ。2週目では Web アプリケーションのうちサーバサイドプログラムの基礎を学ぶ。

サーバサイドプログラムは PHP、Perl、Java、C# や Ruby などさまざまな言語で作成することができるが、本演習では Python を使ったサーバサイドプログラムを作成する。なお、本演習では Python 3.x の利用を仮定して話を進める。

2.2 Python を使ったサーバサイドプログラムの作成

2.2.1 WSGI の概要

Python で作成されたプログラムを Web アプリケーションとして既存の Web サーバソフトウェアで動かすための統一規格として、**WSGI(Web Server Gateway Interface)** がある。WSGI の要件を満たす Python プログラムであれば、Apache2 などの Web サーバ上で動作させることができる。WSGI を使って動かすサーバプログラムを記述するためには、次の要件に注意するだけである。

- ・サーバがプログラムを起動した際、application という名称の関数が実行される。
 - 第1引数として環境変数オブジェクトが渡され、第2引数として HTTP レスポンスヘッダ(後述)を作成する関数が渡される。